

第24号
2019.10

つくる。
育む。

HARMONIA MAGAZINE

ハルモニア マガジン

02
INTERVIEW

農福連携、はじまってます！

いちりやま農園



耕作放棄地や後継者問題など、担い手が不足している農業と障がい者の雇用創出をマッチングさせた「農福連携」が、ここ藤枝で進んでいます。季節を肌で感じながら行う農作業は、人間本来の生きる喜び教えてくれるはず！

藤枝市を東西に横切る県道381島田金谷線沿い。東海道線の線路が見渡せる広い畑が、ハルモニアが運営する「里山農園」だ。ハルモニアでは就労支援としてさまざまな作業を行っているが、屋外で自主的、主体的に活動し、やりがいや成長につながる農業ができるようだ。一方で、以前から土地を探し模索を続けていた。

一方で、土地の所有者である岩本きぬ代さんも、畑を使ってくれる人を探していた。日々続く専業農家に60年前に嫁いで以来、惣菜店を営みながら家族で農業を続けてきたが、近年、年齢的に夫婦2人での管理が難しくなっていった。畑を残してほしいという岩本さんの願いと、農業をしたいといふハルモニアの思いが結びつき、約1年前からハルモニアの「里山農園」としてスタート。以来、広さ300アールほどの農園には、利用者たちが日々農作業に足を運ぶ。夏にはキュウリやオクラ、秋からは冬にかけてはサツマイモや大根、白菜などが一年中実る作物が

季節の移り変わりを知らせててくれる。「今何を作ればいいか、次に何をすればいいか、段取りや畑の手入れをお手伝いしているんです」と岩本さん。農業の知識がないハルモニア職員や利用者にとって、長年培った経験に基づいたアドバイスは心強く、「おばあちゃん」と親しみを込めて呼ばれる。

「ジャガイモを掘つて、うわーって喜ぶ笑顔がかわいくて。おばあちゃんこんなに採れたよー今日は何する?と聞いてくれるものが本当にうれしいですね」「だれもが安心して食べられるように」と、農業は極力少なくがモットー。採れた野菜はハルモニアの惣菜店に卸したり、職員に販売したり、自分たちで食べたり、ちゃんと味わうことも忘れない。熱中症にならないようエアコンつきの休憩室を用意したり、農機具でのケガ対策など配慮は欠かせないが、最初は土の上を歩き慣れないかった利用者たちも日々の農作業で体力がつき、今では「こんなも

のを作つてみたい」と、たくましい声が上がるようになった。

いずれはレストランやイベントなどで広く地域の人々に食べてもらえるようになるのが目標だ。「楽しい」が仕事になり、それが地域との触れ合いを生み、みんなが共存していく。福祉と農業の連携は、そんな未来を作り出す一歩になつている。

現在83歳のきぬ代さんは
ほぼ毎日畑に出る

土に触れ、汗を流し
関わり合うことで
笑顔が生まれる

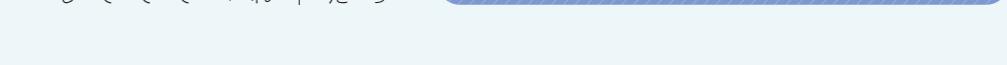
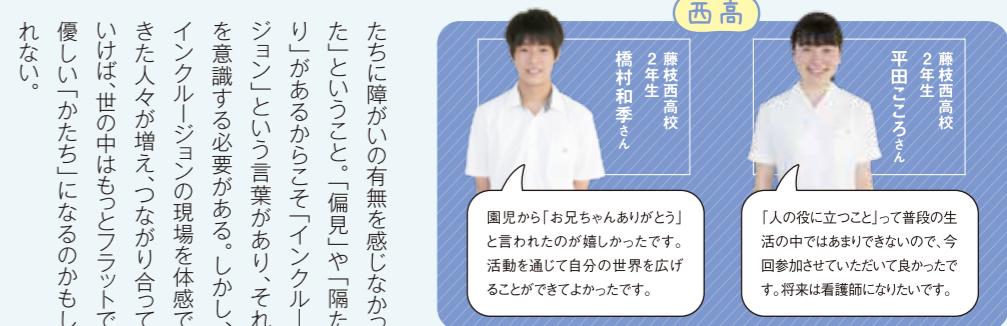
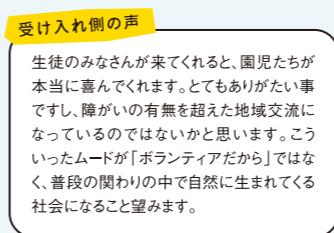
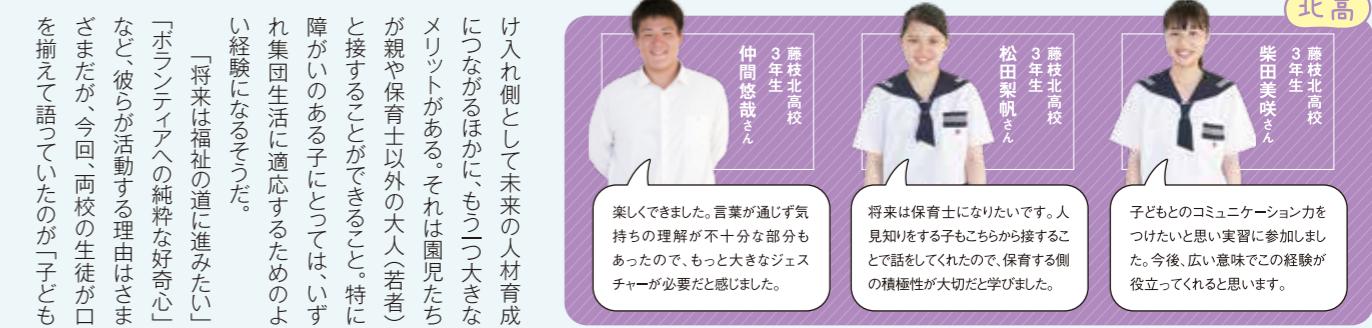
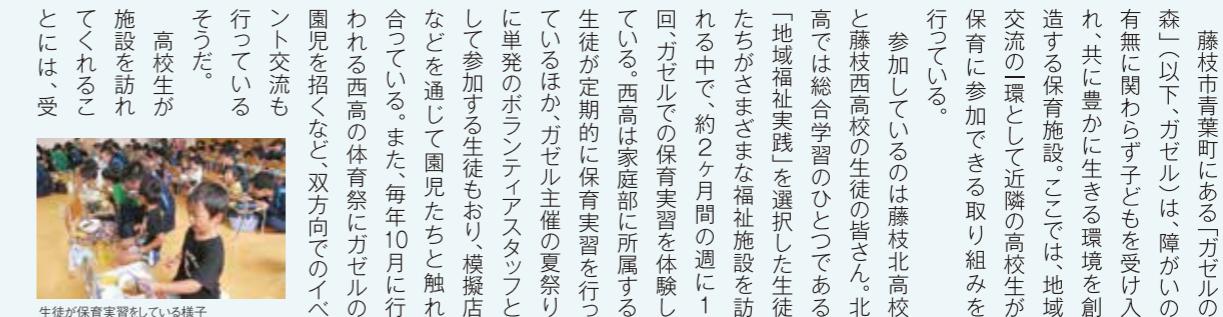


地域の
高校生が
活躍中！

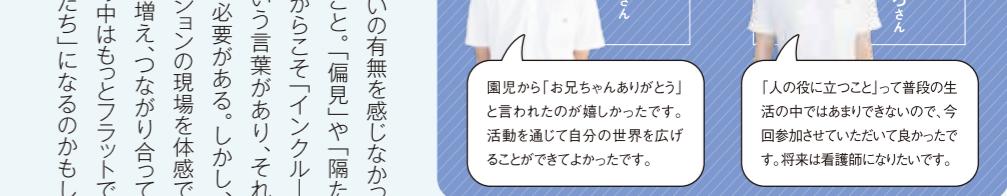
新しい つながりと かたち

ガゼルの森で実習やボランティアを行っている高校生たちの声を聞いてみました。

インクルージョンの現場で 気付いた、たくさんのこと



「人の役に立つこと」で普段の生活の中ではあまりできないので、今回参加させていただけた良かったです。将来は看護師になりたいです。





04 ハルモニアのお惣菜レストラン オープンからその後

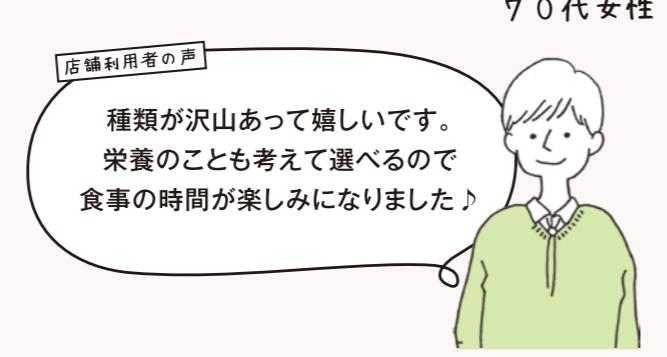
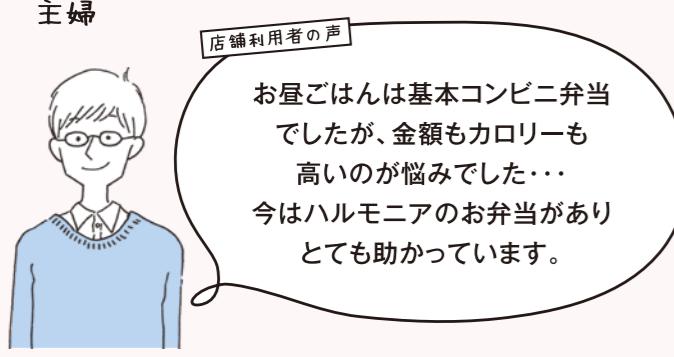
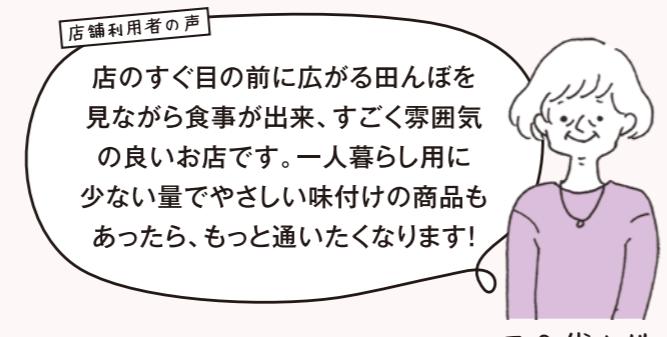
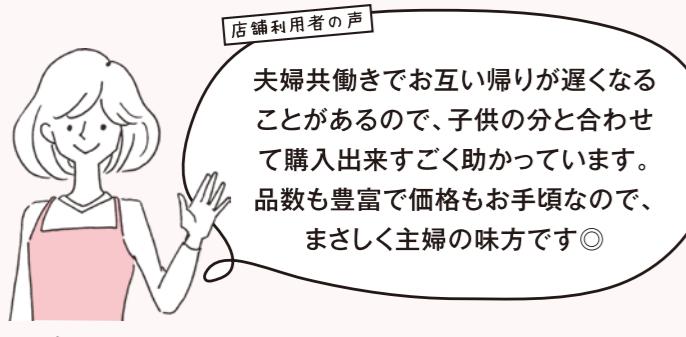
イタリアンレストラン「ガトー・ゴーシュ」から、4月にお惣菜店にリニューアルオープンし、早4ヶ月が経ちました。

おかげさまで幅広い層のお客様にご利用いただき、地域の皆様をはじめ市内の高校や保育園のお迎えの保護者様からも大好評です。

ハルモニアの農園で採れた新鮮野菜を使ったお惣菜も開始し、お腹も心も生産者からも喜んでいただけのお店作りを目指していきたいと思います。



＼ オイシイ♪ウレシイ♪の声が続々！ /



►今後の考え方及び方向

これからは、さらに地域のニーズに合わせた店舗展開をしていきたいと考えています。高齢化や核家族化が進行している中、食を通じて少しでも地域の手助けとなり、その役割をハルモニアの利用者と職員で担っていきたいと考えています。

お店はこちる お惣菜店「ハルモニア」 藤枝市青葉町2-11-1 社会福祉法人ハルモニア 本部1F内 ☎054-636-5577



かたち、色、街や人、仕組み…。
私たちの身近なエリアでかわりゆくモノコトをピックアップ。
可愛くておいしいスイーツに込められた思いとは？



株式会社 Green Earth

リボンをほどいた瞬間の歓声と笑顔を思い浮かべながら、人は贈り物を選ぶ。贈る側も、贈られる人も幸せになる、そんな思いをカタチにして発信したい。スイーツに込められた大きな夢が、いま静岡から世界へ大きく羽ばたこうとしている。

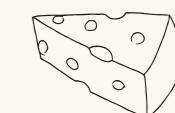
「贈り物で笑顔を生み、地域を盛り上げたい」。そんな思いをスイーツという形で発信しているのが焼津市の「株式会社Green Earth」。もともとアパレル事業を開いていた同社が「もっと街全体を盛り上げ何かを作りたい」という新規事業を考えていたところに、現在統括マネージャーを務める柴田絵美さんによる企画が実現。三人の共通点は「チーズ好き」。ここから今までにないチーズのスイーツ作りが始まった。

商品のコンセプトは「プレゼント」。誰かにあげたくなるもので笑顔が増えたら、という思いからだ。「女性がマークの崩れを感じさせず食べられて、冷蔵庫にちゃんと収まる形や大きさ。試行錯誤し、パッケージもおしゃれに持てるものをイメージした」と柴田さん。試作を繰り返してたどり着いた「クッキーチーズサンド」は、見た目も味も斬新で、登場してほどなく話題になった。

ただおしいただけでなく、そこにはチーズピゲならではのホスピタリティも深く関係している。スタッフは会話を通じて、もうった人が喜ぶ商談をしてほどなく話題になった。ある。「チーズ好きな女の子」＝チーズピゲの夢は、焼津を拠点に無限の可能性をもつて羽ばたこうとしている。

日常にする

世界中を笑顔あふれる



焼津本店(写真)は路面店。「新静岡セノバ店」、「名古屋三越ラシック店」はビルインで、それぞれデザインコンセプトが異なる。

チーズピゲを立ち上げた3人の女性スタッフで、左から柴田さん、村松さん、中道さん。すべては彼女たちの手探りから始まった。



\進めていきます／

06 ハルモニアの働き方改革



ハルモニアでは、2019年4月から順次働き方改革への取り組みとして、法人全体で様々な活動を行っています。

● 静脈認証型 タイムレコーダーの導入

8月から
スタート!

POINT!
月ごとの出退勤を自動で管理できるようになった為、集計作業に関わる時間の大幅短縮につながりました。



● 定時退社

POINT!

現場の時間管理の仕組みを変える事によって、管理職の事務作業の負担も軽減され、法人全体での定時退社への取り組みにつながりました。



この他にも…

- 有給休暇「年10日間」取得推進中!
- 働くには、まず健康から! 職員の負担軽減を図りながら、各自の健康促進を健康セミナー等で行なっています!



毎日のルーティンワークの見直しや、作業効率アップを目的に新しい事を始める事は一見作業が増えている様に見えますが、これらが定着する事で法人全体の「働く環境」が改善されていく事につながります!



07 環境整備も進んでいます!



3階テラス

日差しが心地よいテラスで、食事をしたり雑談をしたりと皆大好きなスペースです。ご利用者様が毎朝丁寧に水やりをしていただいているおかげで、季節を彩る花に囲まれた素敵な空間になっています。



ガゼルの木

シンボルツリーに加えて、園庭にも木を植えました。木陰ができることで暑い日も外で遊べ、葉っぱの色の変化で季節を感じることができます。今後も植樹を進めていき、いずれはガゼルの“森”にしていきます。

2階談話室

青々とした緑が広がる景色に癒されながら、テレビや雑誌を見てゆっくり過ごす環境を整えています。休憩時間に友達と話をしたり、テレビを見ながら仕事の疲れを癒す憩いの場となっています。



トイレ

毎日ご利用いただくトイレも改装し、快適な空間となっています。最近は近所の小学校に通う生徒さんも「トイレを借りていいですか?」と立ち寄っている方が増えています。トイレは心の鏡、ご利用者様も従業員、お客様も気持ちよく利用していただけるように、毎日掃除を欠かさず行い、清潔さを維持しています。



05 保育士不足の現状と定着と採用への取り組み

当法人では今年、保育士5人(新卒常勤4人、短時間1人)を採用することができましたが、全国的に保育士不足となっている現状があり、当法人でも保育士不足による課題が見え始めています。



また、保育士資格を取得していても保育職に就かない潜在保育士も多くいて、同様の理由から就労意欲に繋がらない状況がある…

■人材の確保と働く環境の整備

保育をする上で保育士は必要不可欠ですが、配置基準の保育士数は厳守しつつ、子育て経験が豊富な方や、保育士の資格がなくても子どもが好きで保育に携わりたいという意欲的な方を採用することで、現場職員の負担軽減を図っています。また、現場で保育業務に携わりながら、保育士資格取得を目指したい方への資格取得支援も推進する事で保育士確保に繋げ、資格の有無にかかわらず、広い視野で保育という仕事に向き合える環境をつくりていきたいと考えています。



■時間や仕組みの見直し

現在、当法人では、サービス残業を無くし、定時退社の推進を行っています。これを実現するには、業務内容を整理し、効率化を図る必要があるため、日々の業務内容を改めて精査するとともに、会議の在り方検討や書類の整理、データ化、パソコン環境の整備を行っています。



■仕組みや制度だけでなく「やりがい」も大切にしたい!

保育士の仕事だけでなく、法人が展開する事業は人と多く関わる仕事であり、個々の気持ちによって、やりがいを感じるか、負担を感じるか、変化しやすい職種です。現場職員と管理職が情報共有、意見交換をしながら、働きやすい環境づくりを行うことで、職員がやりがいを持てる職場にし、職員定着と採用に繋げていきたいと考えています。



社会福祉法人 ハルモニア

ご支援・ご協力ありがとうございます

(2019年4月1日～2019年9月30日)

敬称略・順不同

古紙回収

合計129ヶ所

パン販売

平成記念病院

学校法人藤枝学園
藤枝明誠高等学校

花ぼうろ

藤枝市 焼津市 島田市 町内会様 ほか

合計2ヶ所

合計118ヶ所

施設外就労・施設外支援

(株)村上開明堂

(株)静環検査センター

殿村食品(株)

レック(株)

寄付

ハルモニア後援会

西益津第一自治会 自治会長
吉田全機様

合計4ヶ所

合計2ヶ所



ハルモニアの「海苔弁」

400円(税込)



※内容は日替わりです。

ハルモニア本部1階にあるお惣菜店の隠れた逸品、それが「海苔弁」です。お弁当箱の中には、日替わりで6つ～7つのおかずが入っており、中でも今回紹介するメインのハンバーグはもちろん手作り。たっぷりお肉の味を感じる事が出来、食べ応えも十分♪ご飯がすすむこと間違いないです。数量限定なので、運よく見つけられたらぜひお買い求めくださいね!

ハルモニアの決算詳細、事業内容等は
ホームページで公開しています。

是非、ハルモニアホームページへお越しください。



<http://www.harmonia-fujieda.com>

HARMONIA MAGAZINE 表紙こぼれ話



つくる。育む。

ハルモニアが藤枝の一里山で営む農園では、おいしい野菜や色鮮やかな花たちだけでなく、同時にたくさんのモノやコトが育ち、産まれています。それは、関わる人も同じ。育てるものへの思いやりや、期待に満ち溢れ地域の人々との繋がりをもったり、新しい出会いを求めて活動の範囲を広げていく。こうした働きを繰り返すことで、「豊かな土壤=フィールド」となり、また「新しい青葉=人やもの」が芽吹くことに繋がると信じています。